

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「ROBOPROファンド」は、このたび、第3期の決算を行いました。

当ファンドは、ROBOPROマザーファンドを通じて、世界の取引所に上場しているETFに投資することにより、実質的に世界の株式、債券、リートおよびコモディティに分散投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第3期末(2025年6月19日)

基準価額	12,660円
純資産総額	56,520百万円
第3期	
騰落率	6.6%
分配金(税引前)合計	200円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、SBI岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法＞
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

ROBOPROファンド

追加型投信／内外／資産複合

作成対象期間：2024年12月20日～2025年6月19日

交付運用報告書

第3期(決算日2025年6月19日)

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ
03-3516-1300 (受付時間：営業日の9:00～17:00)

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年12月20日～2025年6月19日)



期 首：12,067円

期 末：12,660円 (既払分配金(税引前)：200円)

騰落率： 6.6% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2024年12月19日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドは、各資産の配分比率を機動的に変更して運用を行います。そのため、当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主な投資対象である「ROBOPROマザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・金や先進国株式、米国株式の上昇などがプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・米ドル／円の下落(円高)などがマイナスに影響しました。

1万口当たりの費用明細

(2024年12月20日～2025年6月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	96 円	0.779 %	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(54)	(0.439)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(41)	(0.329)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.034	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(投 資 信 託 証 券)	(4)	(0.034)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.003	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.003)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	1	0.008	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	101	0.824	
期中の平均基準価額は、12,384円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

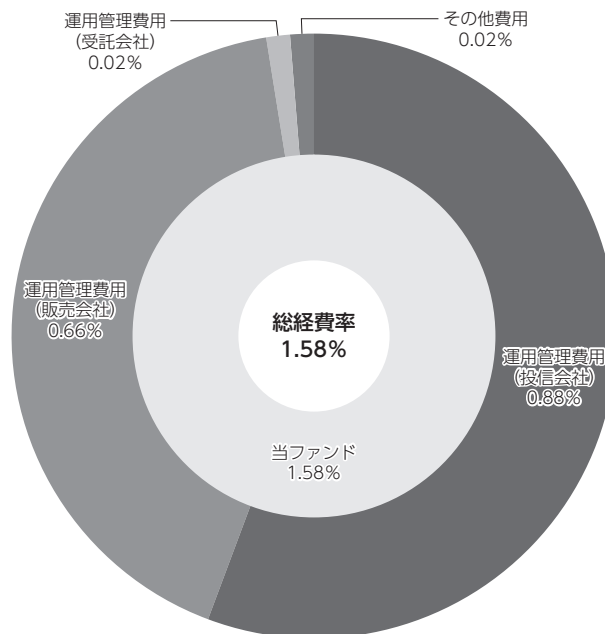
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.58%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

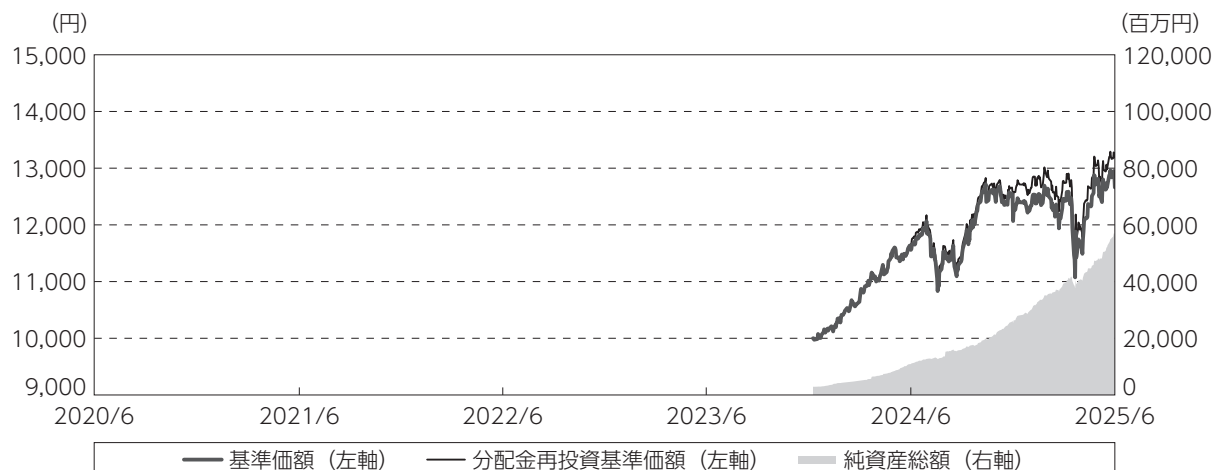
(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドを通じて実質的に投資する上場投資信託証券（ETF）が支払った費用は含みません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年6月19日～2025年6月19日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、設定日（2023年12月28日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2023年12月28日 設定日	2024年6月19日 決算日	2025年6月19日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,558	12,660
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	100	400
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	16.6	13.1
純資産総額 (百万円)	2,900	10,913	56,520

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2024年6月19日の騰落率は設定当初との比較です。

(注) 当ファンドは、各資産の配分比率を機動的に変更して運用を行います。そのため、当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

投資環境

(2024年12月20日～2025年6月19日)

米国株式は、期初は堅調な企業収益を背景に上昇しましたが、弱い経済指標の発表や相互関税政策の導入を受けて下落に転じ、大きく値を下げました。その後は、関税の引き下げが好感され、戻りを試す展開となりました。

米国を除く先進国株式は、欧州中央銀行（ECB）による利下げ継続や、インフラ・防衛関連の政府支出拡大が好感されて上昇しました。2025年4月には、米国の関税政策発表を受けて急落する場面もありましたが、脱・米国志向の動きも追い風となり、当期間で大きく上昇しました。一方、日本株式は、米ドル／円の下落（円高）などが重しとなり、小幅な上昇にとどまりました。

新興国株式は、期初は米国の金融政策に対する警戒感や中国経済の減速懸念などから軟調に推移しましたが、中国の景気刺激策への期待などから2025年3月末にかけて上昇しました。その後、米国の関税政策発表を受けて一時的に急落する場面も見られましたが、中国の追加の景気刺激策や利下げの実施などを背景に持ち直し、当期間では上昇しました。

米国債券は、米連邦公開市場委員会（FOMC）で2025年の利下げ回数見通しが下方修正されたことから利回りが上昇する場面もありましたが、軟調な経済指標や関税政策の発表を受けてリスク回避の動きが強まり、2025年4月上旬にかけて利回りが大きく低下しました。期末にかけては、関税によるインフレ懸念や利下げ期待の後退、歳出法案による財政赤字拡大への懸念などから、利回りの低下幅は縮小しました。

米ドル建てハイイールド債券は、2025年3月から4月上旬にかけてはリスク回避の影響で下落する場面があったものの、高水準のクーポン収入に支えられ、全体としては上昇しました。

新興国債券は、2025年2月末にかけては米金利の低下を背景に利回りが低下しました。その後、関税政策を受けたリスク回避の局面では利回りが急上昇しましたが、期末にかけては世界経済の減速懸念や複数国での利下げ実施を背景に、再び利回りが低下しました。

米国不動産は、金利低下を受けて2025年2月末までは上昇しましたが、関税政策の発表後はリスク回避の動きから急落しました。その後は反動で持ち直したものの、金利上昇懸念が重しとなり、上値の重い展開となりました。

金は、中東情勢の緊張による地政学リスクの高まりに加え、米国の関税政策を背景とした米ドル安の進行を受けて、大きく上昇しました。

為替市場では、日米金利差の縮小や米国の関税政策を背景に米ドル安が進行し、米ドル／円は下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

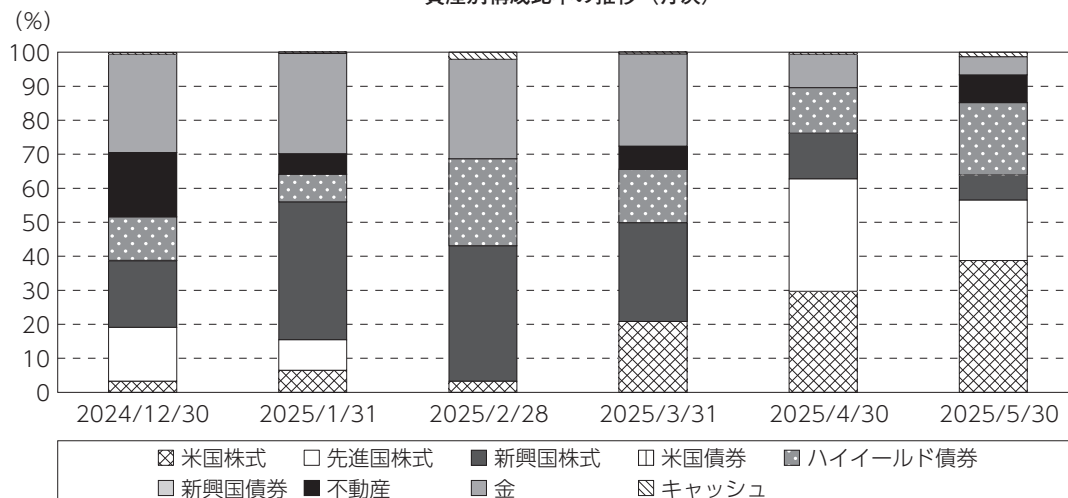
(2024年12月20日～2025年6月19日)

「ROBOPROマザーファンド」受益証券の組入比率は、期を通じて100%に近い高水準を維持しました。

「ROBOPROマザーファンド」の運用につきましては、株式会社FOLIOから投資対象資産の配分比率に関する助言を受け、マーケットデータなどの分析に加え対象資産の期待収益率、リスクおよび相関等の推計値を考慮し配分比率を決定しました。また配分比率の見直しは、1ヵ月毎に行ったほか、2025年4月には米国の相互関税導入発表後の相場動向を踏まえ臨時見直しも実施しました。

配分比率の変化につきましては、4月にかけて株式の比率を高めました。期末にかけてはやや引き下げました。株式内では、期初は新興国株式の比率を高めていたものの、4月以降は先進国株式や米国株式の比率を相対的に高める運用としました。また、金の比率は全体を通じて引き下げました。

資産別構成比率の推移（月次）



米国株式 : バンガード・トータル・ストック・マーケット ETF
 先進国株式（除く米国）: バンガード FTSE ディベロップド・マーケット ETF
 新興国株式 : バンガード FTSE エマージング・マーケット ETF
 米国債券 : バンガード・トータル債券市場 ETF
 ハイイールド債券 : iシェアーズ iBoxx ハイイールド社債 ETF
 新興国債券 : iシェアーズ JP モルガン・ミドル建てエマージング・マーケット債券 ETF
 不動産 : iシェアーズ米国不動産 ETF
 金 : SPDR® Gold MiniShares Trust

(注) 各比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年12月20日～2025年6月19日)

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

分配金

(2024年12月20日～2025年6月19日)

当期の分配金につきましては、分配方針に則り、分配可能額、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりいたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第3期
	2024年12月20日～ 2025年6月19日
当期分配金	200
(対基準価額比率)	1.555%
当期の収益	200
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,660

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<ROBOPROファンド>

運用の基本方針に則り、主要投資対象である「ROBOPROマザーファンド」受益証券の組入比率を高水準に維持することにより、投資信託財産の成長を目指して運用してまいります。

○ROBOPROマザーファンド

世界の取引所に上場しているETFに投資することにより、実質的に世界の株式、債券、リートおよびコモディティに分散投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。株式会社FOLIOから投資対象資産の配分比率に関する助言を受けます。各資産の配分については、マーケットデータなどの分析に加え対象資産の期待収益率、リスクおよび相関等の推計値を考慮し配分比率を決定し、配分比率の見直しは原則として1ヵ月毎に行います。またETFの組入比率は高位を保つことを基本とし、実質組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。

お知らせ

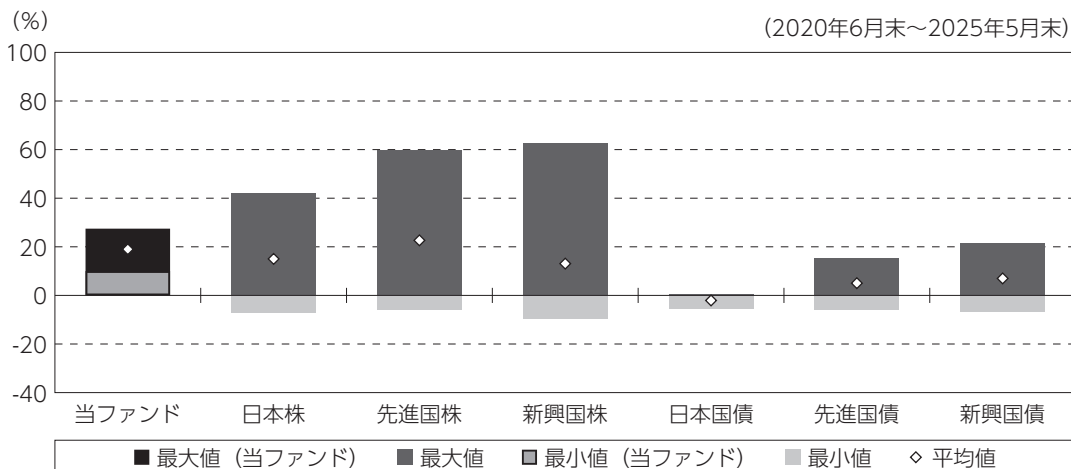
- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の記載変更を行いました。（実施日：2025年4月1日）
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合	
信 託 期 間	2023年12月28日から2045年12月19日までです。	
運 用 方 針	ROBOPROマザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、世界の取引所に上場しているETFに投資することにより、実質的に世界の株式、債券、リートおよびコモディティに分散投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当 フ ァ ン ド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	R O B O P R O マ ザ ー フ ァ ン ド	世界の取引所の上場投資信託証券（ETF）を主要投資対象とします。
運 用 方 法	当 フ ァ ン ド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	R O B O P R O マ ザ ー フ ァ ン ド	ETFの選定は、流動性やコスト等を勘案して行います。また、流動性やコスト等の条件により、上場投資証券（ETN）に投資を行う場合があります。各資産の配分にあたっては、マーケットデータ等の分析に加え、対象資産の期待収益率、リスクおよび相関等の推計値を考慮し配分比率を決定します。配分比率の見直しは、原則として1ヵ月毎に行います。
分 配 方 針	毎年6月19日および12月19日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、分配対象収益の範囲内で、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準等によっては、収益分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	27.5	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	10.0	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0
平均値	19.0	15.0	22.7	13.1	△ 2.1	5.0	7.0

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年6月から2025年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、2024年12月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

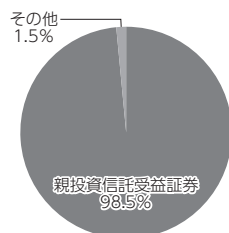
組入資産の内容

(2025年6月19日現在)

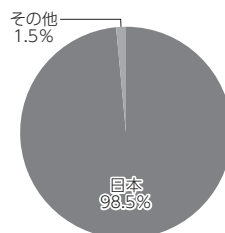
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第3期末
ROBOPROマザーファンド	% 98.5
組入銘柄数	1銘柄

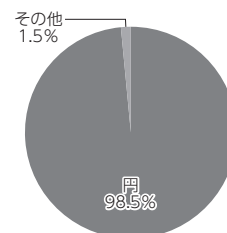
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

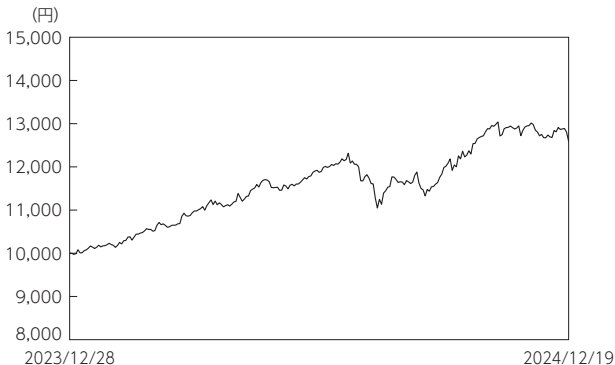
項 目	第3期末
	2025年6月19日
純 資 産 総 額	56,520,972,028円
受 益 権 総 口 数	44,644,064,238口
1万口当たり基準価額	12,660円

(注) 期中における追加設定元本額は26,600,466,451円、同解約元本額は2,996,030,667円です。

組入上位ファンドの概要

ROBOPROマザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年12月28日～2024年12月19日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	19 (19)	0.169 (0.169)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	1 (1)	0.008 (0.008)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	0 (0) (0)	0.004 (0.003) (0.000)
合 計	20	0.181

期中の平均基準価額は、11,461円です。

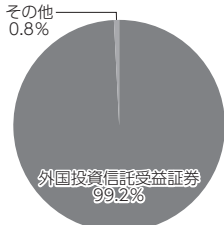
- (注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位 10 銘柄】

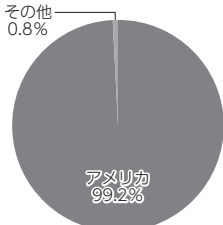
(2024年12月19日現在)

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
					%
1	SPDR® Gold MiniShares® Trust	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	28.6
2	Vanguard FTSE Emerging Markets ETF	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	19.8
3	iShares U.S. Real Estate ETF	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	18.8
4	Vanguard FTSE Developed Markets ETF	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	15.9
5	iShares iBoxx \$ High Yield Corporate Bond ETF	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	12.8
6	Vanguard Total Stock Market ETF	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	3.3
7	Vanguard Total Bond Market ETF	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	0.1
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数		7 銘柄			

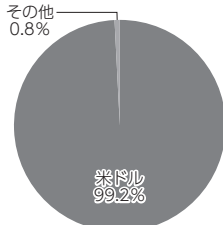
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- (注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
(注) 国（地域）および国別配分につきましては発行国を表示しております。
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA － BPI国債

NOMURA － BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA － BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。